

岩洞第一発電所ほか
空調設備点検業務委託

特記仕様書

令和6年度
岩手県企業局

第1章 一般的事項

1 適用範囲

この特記仕様書は、岩洞第一発電所ほか空調設備点検業務委託に適用する。

2 提出書類

受注者は、別紙1に掲げる書類を監督職員に提出しなければならない。

3 業務管理等

主任技術者は、業務の実施及び工程の管理に当たっては、誠実にこれを実施するとともに、監督職員の指示に従わなければならない。

4 業務計画書

(1) 受注者は、業務計画書について監督職員の承諾を受けなければならない。これに変更が生じた場合も同様とする。

(2) 業務計画書には、下記事項を記載するものとする。ただし、監督職員が了承した事項については、この限りではない。

- ア 業務概要
- イ 実施方針
- ウ 業務全体工程
- エ 業務組織計画
- オ 打合せ計画
- カ 成果品の内容、部数
- キ 使用する主な図書及び基準
- ク 連絡体制（緊急時含む）
- ケ 使用する主な機器
- コ その他

5 作業計画書

(1) 受注者は、業務計画書に基づき作業別に作業計画書を作成して、作業開始前に監督職員の承諾を受けなければならない。これに変更が生じた場合も同様とする。

(2) 作業計画書には、下記事項を具体的に記載するものとする。ただし、監督職員が了承した事項については、この限りではない。

- ア 実施日時
- イ 作業内容
- ウ 作業手順
- エ 作業責任者名
- オ 作業担当者名
- カ 安全管理
- キ その他

第2章 特記事項

1 業務概要

本業務は、岩洞第一発電所ほか空調設備の点検整備及び運転調整を行うものである。

2 業務場所

盛岡市日戸地内ほか

- | | |
|---------------------|-------------|
| (1) 岩洞第一発電所(地上) | 盛岡市日戸地内 |
| (2) 岩洞第一発電所(地下) | 同上 |
| (3) 岩洞取水口 | 盛岡市藪川字大の平地内 |
| (4) 岩洞第二発電所 | 盛岡市門前寺地内 |
| (5) 築川発電所 | 盛岡市川目地内 |
| (6) 早池峰発電所 | 花巻市大迫町内川目地内 |
| (7) 四十四田発電所 | 盛岡市上田字松屋敷地内 |
| (8) 付属施設棟 | 盛岡市上田字松屋敷地内 |
| (9) 高森高原風力発電所（変電所） | 二戸郡一戸町中山地内 |
| (10) 高森高原風力発電所（開閉所） | 二戸郡一戸町女鹿地内 |

3 業務概要

空調設備点検業務 一式

4 業務内容

- (1) 岩洞第一発電所（地上）のパッケージエアコン、ルームエアコン、送風ファン及び排煙ファンの点検整備及び運転調整。
- (2) 岩洞第一発電所（地下）のチラーユニット、エアハンドリングユニット、冷却水循環ポンプ、冷却水ポンプ及び排風ファンの点検整備及び運転調整。ただし、チラーユニットの運転切替え（暖房⇒冷房）は業務に含まない。
- (3) 岩洞取水口監視詰所のルームエアコンの点検整備及び運転調整。
- (4) 岩洞第二発電所のパッケージエアコン及び除湿機の点検整備及び運転調整。
- (5) 四十四田発電所のパッケージエアコンの点検整備及び運転調整。
- (6) 築川発電所のパッケージエアコンの点検整備及び運転調整。
- (7) 早池峰発電所の除湿器の点検整備及び運転調整。
- (8) 付属施設棟のパッケージエアコン、ダクト用換気扇の点検設備及び運転調整。
- (9) 高森高原風力発電所（変電所）のパッケージエアコン、強制排気装置（給気口含む）、ダクト用換気扇の点検整備及び運転調整。
- (10) 高森高原風力発電所（開閉所）のパッケージエアコン、パイプファン、ダクト用換気扇、有圧換気扇の点検整備及び運転調整。

※フロン排出抑制法の冷凍冷房設備に該当するもの（圧縮機電動機の定格出力 7.5kW 以上の場合）は、法律による定期点検を実施する義務がある。

5 年間点検回数

岩洞第一発電所・岩洞取水口・岩洞第二発電所・築川発電所・早池峰発電所・四十四田発電所・付属施設棟、高森高原風力発電所

年1回（概ね7月。点検日は別途協議によるものとする。）

6 点検・整備機器の機種、性能及び台数は別表1及び別表2のとおりとする。

7 点検整備及び運転調整内容は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「建築保全業務共通仕様書」に準拠するものとし、別表3のとおりとする。

8 その他

- (1) 点検整備作業の際に必要な機材工具類、交換が必要になるパッキン、シール等の消耗品は本業務に含むものとする（ただし消耗品のうちランプ類、ヒューズ類、ろ材、Vベルトは支給部品を使用するものとする）。
- (2) 点検の結果、機能等に異常・劣化がある場合及び機器・部品の交換等が必要と判断される場合には、写真等に記録するとともに速やかに監督職員に報告し、その指示に従うこと。
- (3) 点検整備作業により汚れや傷が付かないように、周辺施設及び既設機器に対し必要に応じ養生を行うこと。また、発電機は運転していることから、作業区域を明確にすること。
なお、作業終了後はそのつど作業場所並びに周囲の清掃を実施し、監督職員の確認を受けること。
- (4) 作業終了時には、機器が正常に機能するように十分に確認すること。
- (5) 本業務において受注者の知り得た事柄については、発注者の許可なくこれを第三者に漏らしてはならない。
- (6) 本仕様書について疑義が生じたとき、あるいは明記されていないものについては、発注者と受注者が協議のうえ決定するものとする。
- (7) インクラインへの資材等積込み後に斜坑と資材等が接触し設備破損となることを防止するため、受注者は、資材積込後に監督職員又はインクライン運転者に対し、資材等の高さ確認を依頼し、了承を得た後にインクライン運転を依頼すること。

別紙 1

	項目	部数	備考
契約後	業務工程表（契約後及び変更後）	1	契約書別記第 2 条 契約締結後 7 日以内
	主任技術者通知書	1	契約書別記第 5 条（経歴書含む） 契約締結後 7 日以内
業務前	業務計画書	2	承諾事項、1 部返却用
	作業計画書	2	〃
作業中	作業日誌	1	現地作業のみ
	業務打合簿	2	打合せの都度、1 部返却用
完了時	業務完了報告書	1	契約書別記 11 条
	業務報告書	1	点検作業実施の都度（概ね 7 月、10 月、2 月に点検実施） 業務報告書は市販ファイル製本とし、必要がある場合は監督職員の指示による 別紙 2 電子納品特記仕様書による
	業務写真集	1	業務報告書に含む 別紙 2 電子納品特記仕様書による
その他	請求書	1	
備考	図面以外の提出書類は指定のない限りすべて A4 判とする。 書類の提出先は監督職員とする。		

別表 1

点検・整備対象設備一覧表

施設名	設備名称	台数	点検時期	No. (別紙2参照)	備考
岩洞第一 発電所(地上)	パッケージエアコン	2	7月	1,2	
	ルームエアコン	2		3,4	
	送風ファン	1		5	
	排煙ファン	1		6	
岩洞第一 発電所(地下)	チラーユニット	1	7月	1	
	エアハンドリングユニット	1		2	
	冷却水循環ポンプ	1		3	
	排風ファン	1		4	
	冷却水ポンプ	1		5	
岩洞取水口	ルームエアコン	1	7月	1	
岩洞第二発電所	パッケージエアコン	1	7月	1	
	除湿機	1		2	
築川発電所	パッケージエアコン	2	7月	1,2	
早池峰発電所	除湿器	2	7月	1,2	
四十四田発電所	パッケージエアコン	2	7月	1,2	
付属施設棟	パッケージエアコン	1	7月	1	
	ダクト用換気扇	2		2~7	
高森高原風力 発電所(変電所)	パッケージエアコン	3	7月	1,2,3	
	強制排気装置	14		4~17	
	換気扇	13		18~30	
高森高原風力 発電所(開閉所)	パッケージエアコン	1	7月	1	
	換気扇・パイプファン	11	7月	2~12	

岩洞第一発電所ほか 空気調和機器設備 点検・整備対象機器台帳

岩洞第一発電所(地上)

No.	設備名称	機器番号	型式	機器メーカー	設置年度	仕様等	点検回数	設置場所	備考
1	パッケージエアコン	BCP-1	(室外機) ROA-AP1604H (室内機) AIC-AP1604H	東芝	H21	空冷インバーターヒートポンプ式 冷暖房兼用 天井吊形 冷房能力 14kW 暖房能力 15kW 消費電力(冷房) 5.65kW 消費電力(暖房) 4.43kW 冷媒 R410A	1	地上配電盤室	
2	パッケージエアコン	BCP-2	(室外機) RAS-409AD (室内機) RAS-409D(W)	東芝	H21	空冷式ヒートポンプ 冷暖房兼用 壁掛形 冷房能力 4kW 暖房能力 5kW 消費電力(冷房) 1225W 消費電力(暖房) 1240W 冷媒 R410A	1	インクイン巻上室	
3	ルームエアコン	BCP-4(1)	(室外機) R28GPS (室内機) F28GTPS-W(C)	ダイキン	H18	空冷式ヒートポンプ 冷暖房兼用セパレート形 (インバーター式) 壁掛形 冷房能力 2.8kW 暖房能力 3.2kW 消費電力(冷房) 620W 消費電力(暖房) 600kW 冷媒 R410A	1	会議室(西側)	
4	ルームエアコン	BCP-4(2)	(室外機) R28GPS (室内機) F28GTPS-W(C)	ダイキン	H18	同上	1	会議室(東側)	
5	送風ファン	FS-1	2SRP31	荏原	H29	床置形 出力 2.2kW 風量 56.5m ³ /min 静圧 1270Pa 回転数 3,450rpm Vベルト A60×1本	1	送風機械室	
6	排煙ファン	HS-1	6SRMH	荏原	H29	床置形 出力 7.5kW 風量 34,000m ³ /min 静圧 317Pa 回転数 345rpm Vベルト B140×2本	1	送風機械室	

岩洞第一発電所(地下)

No.	設備名称	機器番号	型式	機器メーカー	設置年度	仕様等	点検回数	設置場所	備考
1	チラーユニット	UWD-1	RCF1700WZTCB	日立	H29	水冷式 床置形 法定冷凍能力 14.71t 冷却能力 150kW 圧縮機 30kW(半密閉形スクリー) 冷媒 R134a	1	地下機械室	※フロン排出抑制法による定期点検義務があるもの。
2	エアハンドリングユニット	AHU-1	CH-300EK	昭和鉄工	H29	水冷式 屋内設置型 送風量 25800m ³ /h 送風機出力 11.61kW 電動機出力 15kW 冷房水量 350L/min 冷水コイル冷却能力 164kW Vベルト B119×2本	1	地下機械室	
3	冷却水循環ポンプ	PCD-1	50LPS51.5E	荏原	H29	床置形 出力 1.5kW 吐出量 120L/min 全揚程 20.3m 回転速度 3,000rpm	1	地下機械室	
4	排風ファン	FE-1	2SRP31	荏原	H29	床置形 出力 2.2kW 風量 56.5m ³ /min 静圧 1270Pa 回転数 3,450rpm Vベルト A60×1本	1	地下機械室	
5	冷却水ポンプ	PW-1	65BMSP357.5A	荏原	H29	水中渦巻きポンプ 出力 7.5kW 吐出量 430L/min 全揚程 50m 回転速度 3,000rpm	1	地下機械室	

岩洞取水口

No.	設備名称	機器番号	型式	機器メーカー	設置年度	仕様等	点検回数	設置場所	備考
1	ルームエアコン	AC-1	(室外機) RAC-2854D (室内機) RAS-2854V	日立	S63	空冷式ヒートポンプ 壁掛形 冷房能力 2,500kcal/h 消費電力 0.915kW 冷媒 フロン22	1	監視詰所	

岩洞第二発電所

No.	設備名称	機器番号	型式	機器メーカー	設置年度	仕様等	点検回数	設置場所	備考
1	パッケージエアコン	AC-1	(室外機) ROA-AP804HS (室内機) AIF-AP802H-1	東芝	H20	空冷式ヒートポンプ 床置形 冷房能力 7.1kW 暖房能力 8.0kW 消費電力(冷房) 2.02kW 消費電力(暖房) 2.18kW 圧縮機出力 1.40kW 冷媒 R410A	1	配電盤室	
2	除湿機	AC-2	RK-NP3L1	日立アプライアンス	H25	床置一体型 除湿能力 7.6L/h 消費電力 2.3kW 圧縮機出力 2.2kW 送風機出力 0.27kW 冷媒 R410A	1	発電機室	

築川発電所

No.	設備名称	機器番号	型式	機器メーカー	設置年度	仕様等	点検回数	設置場所	備考
1	パッケージエアコン	ACP-1(1)	(室外機・室内機) RAS-GP140RHN	日立	R1	空冷ヒートポンプ式 冷暖房兼用 天井カセット4方向 定格冷房能力 12.5kW 暖房標準能力 14.0kW 消費電力(冷房) 3.22kW 消費電力(暖房) 3.20kW 圧縮機出力 2.8kW 冷媒 R32A × 3.8kg	1	配電盤室	
2	パッケージエアコン	ACP-1(2)	(室外機・室内機) RAS-GP140RHN	日立	R1	同上	1	配電盤室	

早池峰発電所

No.	設備名称	機器番号	型式	機器メーカー	設置年度	仕様等	点検回数	設置場所	備考
1	除湿器	AC-1(1)	KFH-P5A1	三菱電機	R3	床置型 除湿方式 ホットガス式 除湿能力 14.6L/W 消費電力 4.1kW 圧縮機出力 3.7kW 送風機出力 0.64kW 冷媒 R410A × 3.0kg	1	水車・発電機室	
2	除湿器	AC-1(2)	KFH-P5A1	三菱電機	R3	同上	1	水車・発電機室	

四十四田発電所

No.	設備名称	機器番号	型式	機器メーカー	設置年度	仕様等	点検回数	設置場所	備考
1	パッケージエアコン	AC-1	(室外機) ROA-AP1405HS (室内機) AIC-AP1406H	東芝	H24	空冷式ヒートポンプ 天井型 冷房能力 12.5kW 定格冷房消費電力 4.09kW 圧縮機出力 2.50kW 冷媒 R410A	1	配電盤室	
2	パッケージエアコン	AC-2	(室外機) PV5A (室内機) PA-5A3	三菱電機	S55	空冷式ヒートポンプ 床置形 冷房能力 13,000kcal/h 圧縮機出力 3.75kW 冷媒 フロン22	1	事務室	

付属施設棟

No.	設備名称	機器番号	型式	機器メーカー	設置年度	仕様等	点検回数	設置場所	備考
1	パッケージエアコン		(室外ユニット) ・組合せ名称 APA2U2454 (室外機) ROA-AP2244H × 1台	東芝	H20	空冷インバーターヒートポンプ式 冷暖房兼用 天井カセット形4方向噴出しタイプ 冷房能力 20.0kW 暖房能力 22.4kW 消費電力(冷房) 6.19kW 消費電力(暖房) 5.82kW 圧縮機出力 4.2kW 冷媒 R410A	1		※一般空調
			(室内ユニット) AIU-AP1125H × 1台	東芝	H20		1	事務室(西側)	※一般空調
			(室内ユニット) AIU-AP1125H × 1台	東芝	H20	※上記の仕様は、室内ユニット 1台当たりの能力を示す	1	事務室(南側)	※一般空調
2	ダクト用換気扇		VF-30S1 (1)	東芝	H11	ダクト用 消費電力 31W 風量 1074m³/h	-	事務室(北東側)	点検対象外
3	ダクト用換気扇		VF-30S1 (2)	東芝	H11	ダクト用 消費電力 31W 風量 1074m³/h	-	事務室(北西側)	
4	ダクト用換気扇		VF-30S1 (3)	東芝	H11	ダクト用 消費電力 31W 風量 1074m³/h	-	事務室(南西側)	
5	ダクト用換気扇		VF-30S1 (4)	東芝	H11	ダクト用 消費電力 31W 風量 1074m³/h	-	事務室(南東側)	
6	ダクト用換気扇		VFH-15KB4	東芝	H11	ダクト用 消費電力 26W 風量 402m³/h	1	便所	
7	ダクト用換気扇		VFH-15J	東芝	H11	ダクト用 消費電力 25W 風量 312m³/h	1	湯沸室	

高森高原風力発電所(変電所)

No.	設備名称	機器番号	型式	機器メーカー	設置年度	仕様等	点検回数	設置場所	備考
1	パッケージエアコン	AC-1	(パッケージ) PLZX-HRMP160EK (室外機) PUZ-HRMP160KA	三菱電機	H29	空冷ヒートポンプ 冷暖房兼用 天井埋込形 冷房能力 16.0kW 暖房能力 20.7kW 消費電力(冷房) 3.90kW 消費電力(暖房) 3.70kW 冷媒 R32	1	制御室	
			(室内機) PLZX-HRMP160EK	三菱電機	H29			(西側)	
			(室内機) PLZX-HRMP160EK	三菱電機	H29			(東側)	
2	パッケージエアコン	AC-2	(パッケージ) PLZ-HRMP140EK (室内機) PLZ-HRMP140EK (室外機) PUZ-HRMP140KA	三菱電機	H29	空冷式ヒートポンプ 冷暖房兼用 天井埋込形 冷房能力 14.0kW 暖房能力 18.2kW 消費電力(冷房) 3.32kW 消費電力(暖房) 3.27kW 冷媒 R32	1	監視室	
3	パッケージエアコン	AC-3	(パッケージ) MLZ-HX4017AS (室内機) MLZ-HX4017AS-IN (室外機) MULZ-HX4017AS	三菱電機	H29	空冷式ヒートポンプ 冷暖房兼用 天井埋込形 冷房能力 4.0kW 暖房能力 6.1kW 消費電力(冷房) 1.11kW 消費電力(暖房) 2.6kW 冷媒 R410A	1	書庫	
4	強制排気装置	RF-1(1)	RF-36H	鎌倉製作所	H29	風量 340m ³ /min 消費電力 2.2kW 電動シャッター	1	蓄電池室	
5	強制排気装置	RF-1(2)	RF-36H	鎌倉製作所	H29	風量 340m ³ /min 消費電力 2.2kW 電動シャッター	1	蓄電池室	
6	強制排気装置	RF-1(3)	RF-36H	鎌倉製作所	H29	風量 340m ³ /min 消費電力 2.2kW 電動シャッター	1	蓄電池室	
7	強制排気装置	RF-1(4)	RF-36H	鎌倉製作所	H29	風量 340m ³ /min 消費電力 2.2kW 電動シャッター	1	蓄電池室	
8	強制排気装置	RF-1(5)	RF-36H	鎌倉製作所	H29	風量 340m ³ /min 消費電力 2.2kW 電動シャッター	1	蓄電池室	
9	強制排気装置	RF-1(6)	RF-36H	鎌倉製作所	H29	風量 340m ³ /min 消費電力 2.2kW 電動シャッター	1	蓄電池室	
10	強制排気装置	RF-1(7)	RF-36H	鎌倉製作所	H29	風量 340m ³ /min 消費電力 2.2kW 電動シャッター	1	蓄電池室	
11	強制排気装置	RF-1(8)	RF-36H	鎌倉製作所	H29	風量 340m ³ /min 消費電力 2.2kW 電動シャッター	1	蓄電池室	
12	強制排気装置	RF-2(1)	RF-30H	鎌倉製作所	H29	風量 230m ³ /min 消費電力 1.5kW 電動シャッター	1	PCS室	
13	強制排気装置	RF-2(2)	RF-30H	鎌倉製作所	H29	風量 230m ³ /min 消費電力 1.5kW 電動シャッター	1	PCS室	
14	強制排気装置	RF-2(3)	RF-30H	鎌倉製作所	H29	風量 230m ³ /min 消費電力 1.5kW 電動シャッター	1	PCS室	
15	強制排気装置	RF-2(4)	RF-30H	鎌倉製作所	H29	風量 230m ³ /min 消費電力 1.5kW 電動シャッター	1	PCS室	
16	強制排気装置	RF-2(5)	RF-30H	鎌倉製作所	H29	風量 230m ³ /min 消費電力 1.5kW 電動シャッター	1	PCS室	
17	強制排気装置	RF-2(6)	RF-30H	鎌倉製作所	H29	風量 230m ³ /min 消費電力 1.5kW 電動シャッター	1	PCS室	
18	天井埋込型換気扇	FE-1(1)	VD-23ZB10	三菱電機	H29	風量 600m ³ /h 消費電力 74W 風圧式シャッター	1	制御室(西側)	
19	天井埋込型換気扇	FE-1(2)	VD-23ZB10	三菱電機	H29	風量 600m ³ /h 消費電力 74W 風圧式シャッター	1	制御室(北側)	
20	天井埋込型換気扇	FE-1(3)	VD-23ZB10	三菱電機	H29	風量 600m ³ /h 消費電力 74W 風圧式シャッター	1	制御室(東側)	

No.	設備名称	機器番号	型式	機器メーカー	設置年度	仕様等	点検回数	設置場所	備考
21	天井埋込型換気扇	FE-2	VD-18ZC9	三菱電機	H29	風量 320m ³ /h 消費電力 26W 風圧式シャッター	1	書庫	
22	天井埋込型換気扇	FE-3	VD-15ZPC9	三菱電機	H29	風量 220m ³ /h 消費電力 20W 風圧式シャッター	1	監視室	
23	天井埋込型換気扇	FE-4	VD-15ZPC9	三菱電機	H29	風量 220m ³ /h 消費電力 20W 風圧式シャッター	1	監視室	
24	天井埋込型換気扇	FE-5(1)	VD-10ZC9	三菱電機	H29	風量 90m ³ /h 消費電力 7.2W 風圧式シャッター	1	男子便所	
25	天井埋込型換気扇	FE-5(2)	VD-10ZC9	三菱電機	H29	風量 90m ³ /h 消費電力 7.2W 風圧式シャッター	1	女子便所	
26	ミニキッチン換気扇	FE-6	DVF-14MRK	東芝キャリア	H29	風量 171m ³ /h 消費電力 19W	1	湯沸室	
27	有圧換気扇		UF-90J	鎌倉製作所	H30	風量 401m ³ /h 消費電力 2.2kW 電動シャッター	1	蓄電池室	
28	有圧換気扇		UF-90J	鎌倉製作所	H30	風量 401m ³ /h 消費電力 2.2kW 電動シャッター	1	蓄電池室	
29	有圧換気扇		UF-90J	鎌倉製作所	H30	風量 401m ³ /h 消費電力 2.2kW 電動シャッター	1	蓄電池室	
30	有圧換気扇		UF-90J	鎌倉製作所	H30	風量 401m ³ /h 消費電力 2.2kW 電動シャッター	1	PCS室	

高森高原風力発電所(開閉所)

No.	設備名称	機器番号	型式	機器メーカー	設置年度	仕様等	点検回数	設置場所	備考
1	パッケージエアコン	ACP-1	(パッケージ) MSZ-HXV5617S-W (室内機) MSZ-HXV5617S-W-IN (室外機) MSZ-HXV5617S	三菱電機	H29	空冷式ヒートポンプ 冷暖房兼用 壁掛形 冷房能力 6.0kW 暖房能力 12.1kW 消費電力(冷房) 2.00kW 消費電力(暖房) 3.96kW 冷媒 R32	1	2階休憩室	
2	パイプ用ファン	PF-1	V-08KPL3	三菱電機	H29	風量 45m ³ /h 消費電力 2.1W	1	休憩室	
3	パイプ用ファン	PF-2(1)	V-12PAS7	三菱電機	H29	風量 135m ³ /h 消費電力 6.1W 電気式シャッター 人感センサー付	1	男子便所	
4	パイプ用ファン	PF-2(2)	V-12PAS7	三菱電機	H29	風量 135m ³ /h 消費電力 6.1W 電気式シャッター 人感センサー付	1	女子便所	
5	天井埋込型換気扇	DF-1	VD-23ZX10-Z	三菱電機	H29	風量 60m ³ /h 消費電力 74W 風圧式シャッター	1	休憩室	
6	天井埋込型換気扇	DF-2	VD-23ZX10-Z	三菱電機	H29	風量 60m ³ /h 消費電力 74W 風圧式シャッター	1	台所室	
7	有圧換気扇	FS-1(1)	EGG-50MFSTB	三菱電機	H29	風量 3820m ³ /h 消費電力 250W 電動シャッター	1	電気室(南側)	
8	有圧換気扇	FS-1(2)	EGG-50MFSTB	三菱電機	H29	風量 3820m ³ /h 消費電力 250W 電動シャッター	1	電気室(北側)	
9	有圧換気扇	FE-1(1)	換気扇 EWF-40DTA 電動シャッター PS-40SMTA	三菱電機	H29	風量 3720m ³ /h 消費電力 150W	1	電気室(西側)	
10	有圧換気扇	FE-1(2)	換気扇 EWF-40DTA 電動シャッター PS-40SMTA	三菱電機	H29	風量 3720m ³ /h 消費電力 150W	1	電気室(東側)	
11	有圧換気扇	FE-2(1)	EFG-30KSB-W	三菱電機	H29	風量 1640m ³ /h 消費電力 47W 電動シャッター付	1	倉庫(北側)	
12	有圧換気扇	FE-2(2)	EFG-30KSB-W	三菱電機	H29	風量 1640m ³ /h 消費電力 47W 電動シャッター付	1	倉庫(南側)	

別表 3

(1) パッケージエアコン、ルームエアコン

点検項目	点検内容	備考
ア 基礎・固定部	<ul style="list-style-type: none"> ・亀裂、沈下等の異常の有無を点検する。 ・固定金具の劣化及び固定ボルトの緩みを点検する。 ・防振材、スッパ-等の劣化及び緩みの有無を点検する。 	
イ 外観の状況(室外機を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・腐食、変形、破損等の有無を点検する。 	
ウ 暖房切替(一般空調、暖房運転開始前実施)	<ul style="list-style-type: none"> ・補助電気ヒーター及び加湿器の電源投入並びに自動制御機器、操作リモコン等の切替及び作動確認 	
エ 水系統		
(ア) 加湿用給水 (暖房運転開始前実施)	<ul style="list-style-type: none"> ・給水止弁の開閉を点検する。 ・漏れ及び汚れの有無を点検する。 	
(イ) ドレンパン	<ul style="list-style-type: none"> ・汚れ、さび、腐食等の有無を点検する(必要があれば清掃を実施する)。 	
(ウ) ドレン排水	<ul style="list-style-type: none"> ・本体のドレン排水確認(ドレン排水管の詰まり、逆勾配、異臭、ドレン排水管とドレンパン間接続部からの漏水等)を行い、支障のないことを確認する(必要があれば清掃を実施すること)。 	
オ 電気系統		
(ア) 操作回路及び動力回路	<ul style="list-style-type: none"> ・絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。 	
(イ) 端子	<ul style="list-style-type: none"> ・緩み及び変色の有無を点検する(必要があれば増締めを実施する)。 	
(ウ) マグネットスイッチ	<ul style="list-style-type: none"> ・接点に異常のないことを確認する。 	
(エ) 配線及びコネクタ	<ul style="list-style-type: none"> ・緩み、外れ及び接点に異常のないことを確認する。 	
(オ) クラックヒーター	<ul style="list-style-type: none"> ・通電及び発熱状態に異常のないことを確認する。 	
(カ) 操作盤	<ul style="list-style-type: none"> ・盤内の汚れ、異物の付着、緩み及び変形の有無を確認する。 	
カ 送風機(室外機を含む)		
(ア) Vベルト	<ul style="list-style-type: none"> ・弛み、亀裂、磨耗等の有無を確認する(必要により交換する)。 	
(イ) 軸受	<ul style="list-style-type: none"> ・異常音、振動等の有無を確認する。 	
(ウ) 羽根	<ul style="list-style-type: none"> ・汚れ、損傷等の有無を確認する。 	
(エ) 電動機	<ul style="list-style-type: none"> ・回転方向が正しいことを確認する。 	
キ エアフィルター		
(ア) ろ材	<ul style="list-style-type: none"> ・詰まり、損傷の有無を確認する(必要があれば清掃を実施する)。 	
(イ) 枠	<ul style="list-style-type: none"> ・変形、腐食等の有無を確認する。 	

点検項目	点検内容	備考
ク 冷媒系統(室外機を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・ガス漏れの有無を確認する。 ・配管の損傷等の有無を確認する。 ・圧縮機の異常加熱の有無を確認する。 	
ケ 熱交換器(室外機を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・フィンコイルの汚れ、損傷等の有無を確認する。 ・電気ヒーターの汚れ、損傷等の有無を確認する。 	
コ 加湿器	<ul style="list-style-type: none"> ・作動の良否を確認する。 ・汚れ、損傷等の有無を確認する。 	
サ 保安装置 (ア) インターロック (イ) 高圧圧力開閉器 (ウ) 可溶栓または安全弁 (エ) 温度ヒューズ (オ) 過熱防止器 (カ) 圧力計	<ul style="list-style-type: none"> ・室内送風機運転と電気ヒーターの作動の良否を点検する。 ・作動の良否を点検する。 ・ガス漏れ及び変形の有無を点検する。 ・溶断、変形及び変色の良否を点検する。 ・作動の良否を点検する。 ・正常値を示していることを確認する。 	
シ 自動制御装置	<ul style="list-style-type: none"> ・温度調節器、湿度調節器、タイマー制御、容量制御等が設定値で作動することを確認する。 ・除霜装置の検知作動及び四方弁動作の良否を確認する。 	
ス 運転調整 (ア) 電源電圧 (イ) 運転電流 (ウ) 冷凍機油 (エ) 熱交換状況 (オ) 除霜装置 (カ) 音、振動	<ul style="list-style-type: none"> ・供給電源電圧に異常のないことを確認する。 ・運転時における電圧変動が規定値内であることを確認する。 ・主電流及び圧縮機電流が定格以下であることを確認する。 ・電気ヒーターの電流が定格値にあることを確認する。 ・汚損、劣化及び油量の適否を確認する。 ・冷媒(配管分流部及び冷媒調整(遮断)弁等の詰まり確認(入りと戻りの冷媒温度測定)、室外機及び室内機吹出し空気の温度等を点検し、熱交換状況が正常であることを確認する。 ・検知作動並びに四方弁操作の良否を点検する。 ・異常のないことを確認する。 	

点検項目	点検内容	備考
セ 実測項目 (7) 点検整備時 (イ) 運転調整時	<ul style="list-style-type: none"> ・ 圧縮機絶縁抵抗 (各相) ・ 送風機 (室内機) 絶縁抵抗 (各相) ・ 送風機 (室外機) 絶縁抵抗 (各相) ・ 補助電気ヒーター絶縁抵抗 ・ 加湿器絶縁抵抗 ・ 運転電圧 (各相) ・ 圧縮機運転電流 (各相) ・ 圧縮機運転周波数 (インバーター機のみ) ・ 冷媒圧力 (高圧、低圧) ・ 高圧圧力開閉器作動値 ・ 室内機吸込み温度及び吐出し温度 ・ 温度調節器、湿度調節器等の設定値及び作動確認 ・ 外気温度 (室外機吸込み温度) 	

(2) ダクト用換気扇、パイプファン

点検項目	点検内容	備考
ア 固定部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 亀裂等の異常の有無を点検する。 ・ 固定金具の劣化及び固定ボルトの緩みを点検する。 ・ 防振材の破損、劣化等の有無を点検する。 ・ 脱落防止、吊り支持等の金具の緩み及び腐食の有無を点検する。 	
イ 外観の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 汚れの有無を点検する。(必要があれば清掃を実施する。) ・ さび、腐食、変形、破損、ボルトの緩み等の有無を点検する。 	
ウ 電動機	<ul style="list-style-type: none"> ・ 回転方向が正しいことを確認する。 ・ 表面温度の異常の有無を点検する。 ・ 絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。 ・ 運転電流が、定格値以下であることを確認する。 	
エ 羽根車	<ul style="list-style-type: none"> ・ 汚れ、変形、さび等の有無を点検する。 ・ ボルトの緩みの有無を点検する。 ・ フレーム等に接触していないことを確認する。 ・ 異常音、異常振動等の有無を点検する。 	
オ 運転調整	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運転時における電圧変動が規定値内にあることを確認する。 ・ 運転電流が定格以下であることを確認する。 	
カ 実測項目	<ul style="list-style-type: none"> (ア) 点検整備時 (イ) 運転調整時 <ul style="list-style-type: none"> ・ 電動機絶縁抵抗 (各相) ・ 運転電圧 (各相) ・ 運転電流 (各相) 	

(3) チラーユニット

点検項目	点検内容	備考
ア 基礎・固定部	<ul style="list-style-type: none"> ・亀裂、沈下等の有無を点検する。 ・固定金具の劣化及び固定ボルトの緩みを点検する。 ・防振材、ストッパ等の劣化及び緩みの有無を点検する。 	
イ 外観の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・腐食、変形、破損等の有無を点検する。 	
ウ 付属品		
(ア) 温度計及び圧力計	<ul style="list-style-type: none"> ・正常値を指示していることを点検する。 ・取付け部等の漏れの有無を点検する。 ・汚れ及び損傷の有無を確認する。 	
(イ) 安全弁	<ul style="list-style-type: none"> ・漏れの有無及び作動の良否を点検する。 	
エ 電気系統		
(ア) 操作回路及び動力回路	<ul style="list-style-type: none"> ・絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。 	
(イ) 端子	<ul style="list-style-type: none"> ・緩み及び変色の有無を点検する（必要があれば増締めを実施する）。 	
(ウ) クラックヒータ	<ul style="list-style-type: none"> ・通電及び発熱状態に異常がないことを確認する。 	
(エ) 操作盤	<ul style="list-style-type: none"> ・盤内の汚れ、異物の付着、緩み及び変形の有無を確認する。 	
(オ) 電磁開閉器	<ul style="list-style-type: none"> ・接点に異常のないことを確認する。 ・異音及び劣化の有無を確認する。 	
(カ) 接地	<ul style="list-style-type: none"> ・断線及び緩みの有無を確認する。 ・接地抵抗を測定し、その良否を確認する。 	
オ 保安装置		
(ア) 圧力開閉器	<ul style="list-style-type: none"> ・設定値で作動することを確認する。 	
(イ) 吐出ガス温度サーモ	<ul style="list-style-type: none"> ・作動の良否を点検する。 	
(ウ) 断水リレー	<ul style="list-style-type: none"> ・作動の良否を点検する。 	
(エ) インターロック	<ul style="list-style-type: none"> ・作動の良否を点検する。 	
(オ) 冷水凍結防止サーモ	<ul style="list-style-type: none"> ・作動の良否を点検する。 	
(カ) 可溶栓	<ul style="list-style-type: none"> ・変形、破損等の有無を点検する。 	
カ 冷媒系統	<ul style="list-style-type: none"> ・ガス漏れの有無を確認する。 ・配管の損傷、接触、磨耗、腐食等の有無を確認する。 ・圧縮機の異常加熱の有無を確認する。 	
キ 潤滑油系統	<ul style="list-style-type: none"> ・油の汚れの有無及び油量の適否を確認する。 	
ク 冷却水系統	<ul style="list-style-type: none"> ・漏れの有無を点検する。 ・弁の開閉の良否を点検する。 	
ケ 排水	<ul style="list-style-type: none"> ・通水試験を行い、流れに支障のないことを確認する。 	

点検項目	点検内容	備考
コ 運転調整 (ア) 音、振動 (イ) 主電源電圧及び電流 (ウ) 冷媒ガス (エ) 冷凍機油 (オ) 熱交換状況 (カ) 自動制御	<ul style="list-style-type: none"> ・異常のないことを確認する。 ・供給電源電圧に異常のないことを確認する。 ・運転時における主電源電圧の変動が規定値内にあることを確認する。 ・主電流及び圧縮機電流が規定値内であることを確認する。 ・高圧側及び低圧側の圧力、温度等の冷媒ガスの状態を把握するために必要な計測を行い、その値が許容範囲内であることを確認する。 ・油圧、温度等を計測し、その値が許容範囲内にあることを確認する。 ・冷媒、冷却水及び冷水の温度等を点検し、熱交換状況が正常であることを確認する。 ・温度、圧力、容量及びタイマー制御が設定値で作動することを確認する。 	
サ 実測項目 (ア) 点検整備時 (イ) 運転調整時	<ul style="list-style-type: none"> ・総合絶縁抵抗（各相） ・圧縮機絶縁抵抗（各相） ・運転電圧（各相） ・総合運転電流（各相） ・圧縮機運転電流（各相） ・冷媒圧力（高圧、低圧） ・吸込み圧力及び吐出し圧力 ・冷却水圧力、温度（1次、2次） ・冷水圧力（1次、2次） 	

(4) 冷却水循環ポンプ

点検項目	点検内容	備考
ア 基礎・固定部 イ 外観の状況 ウ 電気系統 (ア) マグネットスイッチ エ 電動機 オ 圧力計、連成計 カ 冷却水系統 キ 運転調整 ク 実測項目 (ア) 点検整備時 (イ) 運転調整時	<ul style="list-style-type: none"> ・固定金具の劣化及び固定ボルトの緩みの有無を点検する。 ・防振材、ストッパー等の劣化及び緩みの有無を点検する。 ・腐食、損傷及び漏洩の有無を点検する。 ・ポンプの吸込み圧力及び吐出し圧力が許容範囲内にあることを確認する。 ・軸封の漏水状態を点検する。 ・接点に異常のないことを確認する。 ・発熱の異常の有無を点検する。 ・回転方向が正しいことを確認する。 ・絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。 ・運転電流が、定格値以下であることを確認する。 ・腐食及び損傷の有無を確認する。 ・指示値が適正であることを確認する。 ・漏れの有無を点検する。 ・空気抜弁の漏洩確認を行い、支障がないことを確認する。 ・運転時における電圧変動が規定値内であることを確認する。 ・運転電流が定格以下であることを確認する。 ・電動機絶縁抵抗（各相） ・運転電圧（各相） ・運転電流（各相） 	

(5) 冷却水ポンプ

点検項目	点検内容	備考
ア 本体	<ul style="list-style-type: none"> ・ 締切圧力及び吐出し圧力が許容値範囲内にあることを確認する。 	
イ 電動機	<ul style="list-style-type: none"> ・ 絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。 ・ 運転電流が、定格値以下であることを確認する。 	
ウ 自動空気抜弁	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水漏れの有無を点検する。 ・ 空気が確実に抜けることを確認する。 	
エ ケーブル	<ul style="list-style-type: none"> ・ 損傷等の有無を点検する。 ・ 絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。 	
オ 圧力計、連成計	<ul style="list-style-type: none"> ・ 腐食及び損傷の有無を確認する。 ・ 指示値が適正であることを確認する。 	
カ 運転調整	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運転時における電圧変動が規定値内であることを確認する。 ・ 運転電流が定格以下であることを確認する。 	
キ 実測項目 (ア) 点検整備時 (イ) 運転調整時	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電動機絶縁抵抗 (各相) ・ 運転電圧 (各相) ・ 運転電流 (各相) 	

(6) エアハンドリングユニット

点検項目	点検内容	備考
ア 基礎・固定部	<ul style="list-style-type: none"> ・亀裂、沈下等の有無を点検する。 ・固定金具の劣化及び固定ボルトの緩みを点検する。 ・防振材、スッパ-等の劣化及び緩みの有無を点検する。 	
イ 外観の状況		
(ア) 本体	<ul style="list-style-type: none"> ・腐食、変形、破損等の有無を点検する。 	
(イ) 保温材及び吸音材	<ul style="list-style-type: none"> ・損傷及び脱落の有無を点検する。 	
ウ 送風機		
(ア) 羽根車	<ul style="list-style-type: none"> ・汚れ、さび、腐食等の有無を点検する。 ・回転バランスの良否を点検する。 	
(イ) シャフト	<ul style="list-style-type: none"> ・汚れ、さび、磨耗等の有無を点検する。 	
(ロ) Vベルト	<ul style="list-style-type: none"> ・弛み、磨耗、損傷等の有無を点検する（必要により交換する）。 	
(ハ) プーリー	<ul style="list-style-type: none"> ・磨耗等の有無を点検する。 	
(ニ) 軸受	<ul style="list-style-type: none"> ・音、振動等の異常の有無を点検する。 ・給油の状態を点検する（必要により給油する）。 	
(ホ) カップリング	<ul style="list-style-type: none"> ・磨耗、損傷等の有無を確認する。 	
(ヘ) 電動機	<ul style="list-style-type: none"> ・絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。 ・回転方向が正しいことを確認する。 ・表面温度の異常の有無を点検する。 ・電流が定格値内であることを確認する。 	
エ 電気系統		
(ア) 端子	<ul style="list-style-type: none"> ・緩み及び変色の有無を点検する（必要があれば増締めを実施する）。 	
(イ) マグネットスイッチ	<ul style="list-style-type: none"> ・接点に異常のないことを確認する。 	
(ロ) 操作盤	<ul style="list-style-type: none"> ・盤内の汚れ、異物の付着、緩み及び変形の有無を確認する。 	
オ 熱交換器	<ul style="list-style-type: none"> ・冷却水コイル等の汚損、腐食、損傷等の有無を点検する。 	
カ 水系統		
(ア) ドレンパン	<ul style="list-style-type: none"> ・汚れ、さび、腐食等の有無を点検する（必要があれば清掃を実施する）。 	
(イ) ドレン排水	<ul style="list-style-type: none"> ・本体のドレン排水確認を行い、支障のないことを確認する（必要があれば清掃を実施する）。 	
キ エアフィルター		
(ア) ろ材	<ul style="list-style-type: none"> ・詰まり、損傷の有無を確認する（必要があれば清掃を実施する）。 	
(イ) 枠	<ul style="list-style-type: none"> ・変形、腐食等の有無を確認する。 	
ク ダクト系統	<ul style="list-style-type: none"> ・音、振動等の異常の有無を点検する。 ・風量調整ダンパ-を点検し、支障のないことを確認する。 ・キャンバス継ぎ手の異常の有無を確認する。 	

点検項目	点検内容	備考
ケ 温度計 コ 運転調整 サ 実測項目 (ア) 点検整備時 (イ) 運転調整時	<ul style="list-style-type: none"> ・ 正常値を指示していることを点検する。 ・ 取付け部等の漏れの有無を点検する。 ・ 汚れ及び損傷の有無を確認する。 ・ 運転時における電圧変動が規定値内であることを確認する。 ・ 運転電流が定格以下であることを確認する。 ・ 電動機絶縁抵抗（各相） ・ 運転電圧（各相） ・ 運転電流（各相） 	

(7) 送風ファン、排風ファン、排煙ファン

点検項目	点検内容	備考
ア 基礎・固定部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 亀裂、沈下等の有無を点検する。 ・ 固定金具の劣化及び固定ボルトの緩みを点検する。 ・ 防振材の破損等の有無を点検する。 	
イ 外観の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 汚れの有無を点検する。 ・ 腐食及びボルトの緩みの有無を点検する。 	
ウ 電動機	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発熱の異常の有無を点検する。 ・ 回転方向が正しいことを確認する。 ・ 絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。 ・ 運転電流が、定格値以下であることを確認する。 	
エ 軸受	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発熱、音、振動等の異常の有無を点検する。 ・ 給油の状態を点検する（必要により給油する）。 	
オ Vベルト	<ul style="list-style-type: none"> ・ 弛み、磨耗、損傷等の有無を点検する（必要により交換する）。 	
カ Vベルトカバー	<ul style="list-style-type: none"> ・ 変形、損傷等の有無を点検する。 	
キ Vプーリー	<ul style="list-style-type: none"> ・ 磨耗、損傷等の有無を点検する。 ・ 芯出しの良否を点検する。 	
ク 羽根車	<ul style="list-style-type: none"> ・ 汚れ、変形、腐食等の有無を点検する。 ・ ボルトの緩みの有無を点検する。 ・ ケーシング等に接触していないことを確認する。 	
ケ 運転調整	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運転時における電圧変動が規定値内であることを確認する。 ・ 運転電流が定格以下であることを確認する。 	
コ 実測項目 (7) 点検整備時 (イ) 運転調整時	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電動機絶縁抵抗（各相） ・ 運転電圧（各相） ・ 運転電流（各相） 	

(8) 除湿機

点検項目	点検内容	備考
ア 基礎・固定部	<ul style="list-style-type: none"> ・亀裂、沈下等の異常の有無を点検する。 ・固定金具の劣化及び固定ボルトの緩みを点検する。 ・防振材、スッパ[®]等の劣化及び緩みの有無を点検する。 	
イ 外観の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・腐食、変形、破損等の有無を点検する。 	
ウ 水系統		
(ア) ドレンパン	<ul style="list-style-type: none"> ・汚れ、さび、腐食等の有無を点検する（必要があれば清掃を実施する）。 	
(イ) ドレン排水	<ul style="list-style-type: none"> ・本体のドレン排水確認を行い、支障のないことを確認する（必要があれば清掃を実施すること）。 	
エ 電気系統		
(ア) 操作回路及び動力回路	<ul style="list-style-type: none"> ・絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。 	
(イ) 端子	<ul style="list-style-type: none"> ・緩み及び変色の有無を点検する（必要があれば増締めを実施する）。 	
(ロ) マグネットスイッチ	<ul style="list-style-type: none"> ・接点に異常のないことを確認する。 	
(ハ) 配線及びコネクタ	<ul style="list-style-type: none"> ・緩み、外れ及び接点の接触不良の有無を点検する。 	
(ニ) クラックケースヒータ	<ul style="list-style-type: none"> ・通電及び発熱状態に異常のないことを確認する。 	
(ホ) 操作盤	<ul style="list-style-type: none"> ・盤内の汚れ、異物の付着、緩み及び変形の有無を確認する。 	
オ 送風機		
(ア) Vベルト	<ul style="list-style-type: none"> ・弛み、亀裂、磨耗等の有無を確認する（必要により交換する）。 	
(イ) 軸受	<ul style="list-style-type: none"> ・異常音、異常振動等の有無を確認する。 	
(ロ) 羽根車	<ul style="list-style-type: none"> ・汚れ、損傷等の有無を確認する。 	
(ハ) 電動機	<ul style="list-style-type: none"> ・回転方向が正しいことを確認する。 	
カ エアフィルター		
(ア) ろ材	<ul style="list-style-type: none"> ・詰まり、損傷の有無を確認する（必要があれば清掃を実施する）。 	
(イ) 枠	<ul style="list-style-type: none"> ・変形、腐食等の有無を確認する。 	
キ 冷媒系統	<ul style="list-style-type: none"> ・ガス漏れの有無を確認する。 ・配管の損傷等の有無を確認する。 ・圧縮機の異常加熱の有無を確認する。 	
ク 保安装置		
(ア) インターロック	<ul style="list-style-type: none"> ・送風機運転の作動の良否を点検する。 	
(イ) 高圧圧力開閉器	<ul style="list-style-type: none"> ・作動の良否を点検する。 	
(ロ) 可溶栓または安全弁	<ul style="list-style-type: none"> ・ガス漏れ及び変形の有無を点検する。 	
(ハ) 温度ヒューズ	<ul style="list-style-type: none"> ・溶断、変形及び変色の良否を点検する。 	
(ニ) 加熱防止器	<ul style="list-style-type: none"> ・作動の良否を点検する。 	
(ホ) 圧力計	<ul style="list-style-type: none"> ・正常値を示していることを確認する。 	

点検項目	点検内容	備考
ケ 自動制御装置 コ 運転調整 (ア) 電源電圧 (イ) 運転電流 (ウ) 冷凍機油 (エ) 除霜装置 (オ) 音、振動 サ 実測項目 (ア) 点検整備時 (イ) 運転調整時	<ul style="list-style-type: none"> ・湿度調節器等が設定値で作動することを確認する。 ・除霜装置の検知作動の良否を確認する。 ・供給電源電圧に異常のないことを確認する。 ・運転時における電圧変動が規定値内であることを確認する。 ・主電流及び圧縮機電流が定格以下であることを確認する。 ・汚損劣化及び油量の適否を確認する。 ・検知作動の良否を点検する。 ・異常のないことを確認する。 ・圧縮機絶縁抵抗（各相） ・送風機絶縁抵抗（各相） ・加湿器絶縁抵抗 ・運転電圧（各相） ・圧縮機運転電流（各相） ・冷媒圧力（高圧、低圧） ・高圧圧力開閉器作動値 ・吸込み温度及び吐出し温度 ・湿度調節器等の設定値及び作動確認 	

電子納品特記仕様書〔業務〕

1 適用

本業務は、電子納品の対象業務とする。

電子納品とは、「調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子成果品として納品すること」をいう。ここでいう電子成果品とは、岩手県電子納品ガイドライン（以下、「岩手県ガイドライン」という。）及び国が策定している電子納品要領・基準等（以下「国の要領等」という。）に基づいて作成した電子データを指す。

2 電子納品実施区分

本業務における電子納品の実施区分は、次のとおりとする。

- () 本業務は、電子納品を「義務」として実施する。
 (○) 本業務は、電子納品の実施を受発注者間の「協議」により決定する。

※いずれかに「○」を記入すること

3 電子納品対象書類

〔土木、農業農村整備、治山林道、水産、企業局関係〕

本業務において、電子納品対象書類を「義務」又は「協議」とする区分は、下表のとおりとする。

フォルダー	書類名	作成者		備考
		発注者	受注者	
REPORT	報告書		△	
DRAWING	図面		△	
PHOTO	写真		△	

※ 作成者欄の「○」は義務、「△」は協議を示す。

※ 上記以外の書類については、受発注者間の協議によって決定する。

※ 岩手県ガイドラインで定めているものの他に、電子納品が必要な書類がある場合は、上表に記載すること。

4 電子成果品は、岩手県ガイドライン及び国の要領等に基づいて作成し、電子媒体 (CD-R) で 2 部提出すること。

5 電子成果品を提出する際は、電子納品チェックシステム・SXF ブラウザ等による成果品のチェックを行い、エラーがないことを確認するとともに、確実にウイルスチェックを実施したうえで提出すること。

6 電子成果品を提出する際には、「電子媒体納品書」を作成し、電子媒体と併せて提出すること。

電子媒体納品書〔業務〕

令和 年 月 日

様

受注者
住 所
氏 名

主任技術者氏名

印

下記のとおり電子媒体を納品します

記

業務名	岩洞第一発電所ほか 空調設備点検業務委託				
電子媒体の種類	規格	単位	数量	納品年月	備考
DVD-R	ISO9660 (レベル1)	部		令和 年 月	

〔備考〕

- 電子納品チェックシステムによるチェック
 - ・電子チェックシステムのバージョン：__ . __ . __
 - ・チェック実施年月日：令和__年__月__日

- DVD-R が複数となる場合のそれぞれの内容
 - ・1/○：__
 - ・2/○：__

事前協議チェックシート〔業務〕

1 協議実施日等

協議実施日	令和 年 月 日	
出席者	発注者	
	受注者	

2 電子納品の取扱い

(1) 電子納品実施区分

項目	チェック	実施区分
電子納品実施区分	<input type="checkbox"/>	電子納品を実施（部分的に実施する場合も含む）
	<input type="checkbox"/>	従来どおり紙納品で実施

※ チェック欄は、いずれか該当する区分に「○」を記入すること。

(2) 電子納品対象書類

〔土木、農業農村整備、治山林道、水産、企業局関係〕

フォルダー	チェック	書類名	作成者		備考 (部分的に紙納品する場合などを記載)
			発注者	受注者	
REPORT	<input type="checkbox"/>	報告書			
DRAWING	<input type="checkbox"/>	図面			
PHOTO	<input type="checkbox"/>	写真			
	<input type="checkbox"/>				

※ チェック欄は、各書類を「電子データ」で作成するか、「紙」で作成するかを記入すること。

3 施行中における情報交換の手段

項目	チェック	確認内容
電子メールの利用	<input type="checkbox"/>	情報交換に電子メールを利用する
	<input type="checkbox"/>	情報交換に電子メールを利用しない
電子メールを利用する場合の 確認事項	<input type="checkbox"/>	受信確認の徹底
	<input type="checkbox"/>	ファイル容量（1通当り2MB以下）
	<input type="checkbox"/>	ファイル命名規則〔 〕
	<input type="checkbox"/>	ログの保存
	<input type="checkbox"/>	ウィルスチェック、セキュリティパッチ適用の徹底

※ チェック欄は、該当する項目に「○」を記入すること。

4 電子納品データの作成/確認ソフト及びファイル形式の確認

項目	チェック	確認内容
報告書・打合せ簿等の文書データ	<input type="checkbox"/>	Microsoft社 Word2000に対応したファイル形式
表計算データ	<input type="checkbox"/>	Microsoft社 Excel2000に対応したファイル形式
CADデータ	<input type="checkbox"/>	SXF (sfc) 形式
写真等の画像データ	<input type="checkbox"/>	JPEG形式〔但し参考図はTIFF(G4)形式でも可とする〕
その他全般	<input type="checkbox"/>	PDF形式
上記形式以外で、使用するファイル 形式	<input type="checkbox"/>	〔 〕
	<input type="checkbox"/>	〔 〕

※ チェック欄は、該当する項目に「○」を記入すること。

※ CADデータは、SXFレベル2 Ver2.0に対応したCADソフトで作成すること。なお、SXF(sfc)に対応できない場合については、発注者の承諾を得た上でSXF(p21)で作成してもよい。

5 国の要領等の確認

区分	チェック	国の要領等
土木、治山林道、水産、 企業局 関係	【土木】	工事完成図書等の電子納品要領（案）
		土木設計業務等の電子納品要領（案）
		CAD製図基準（案）
		デジタル写真管理情報基準（案）
		測量成果電子納品要領（案）
	【電気】	地質・土質調査成果電子納品要領（案）
		土木設計業務等の電子納品要領（案） 電気通信設備編
		工事完成図書等の電子納品要領（案） 電気通信設備編
	【機械】	CAD製図基準（案） 電気通信設備編
		土木設計業務等の電子納品要領（案） 機械設備工事編
	【港湾】	工事完成図書等の電子納品要領（案） 機械設備工事編
		CAD製図基準（案） 機械設備工事編
CAD図面作成要領（案）（港湾局版）		
建築関係		営繕工事電子納品要領（案）
		建築設計業務等電子納品要領（案）
		建築CAD図面作成要領（案）
		工事写真の撮り方（建築編・建築設備編）

※ チェック欄は、該当する項目に「○」を記入すること。

6 施行中のデータ保管方法

項目	チェック	確認内容
通常データを保管する機器		機器名〔 〕
		容量〔 GB・MB〕
データのバックアップを行う機器		機器名〔 〕
		容量〔 GB・MB〕
バックアップを行う時期		時期〔 日ごと〕

※ 対応する項目の確認内容を記入した上で、チェック欄に「○」を記入すること。

7 その他

項目	チェック	確認内容

※ 項目及び確認内容に必要な事項を記入した上で、チェック欄に「○」を記入すること。